

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	工業デザイン実習 2	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	120時間
単位数	4単位	開講時間	月曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	加賀武見		実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー	
学習目的					
この授業では、幅広く雑貨デザインの知識と技術を学ぶ。 雑貨デザインに関する基本的なスキルを習得し、マーケットリサーチ・アイディア展開・スケッチスキル・試作製作に関する技術考え方を習得する。					
到達目標					
複数種類の素材・テーマの雑貨デザインを行う上での技術知識を習得することを目標にする。					
教育方法等					
授業概要	プロダクトデザインのなかでも比較的ライトな雑貨デザインの意味や位置づけ、考え方などを学ぶ。モノ、コトの成り立ちを知るとともに、経済的側面、生産的側面を考慮しながら課題を進める。各種要求項目、および設計条件を割り出し、それに則ったイメージづくりからアイディア展開、モデル化、の流れを経験し、スケッチワークやモデリングワークにおける造形表現手法を学習する。雑貨で使用する代表的な素材を複数体験する事で表現力の幅を広げる。				
注意点	工具・機具を使用した模型製作時怪我をしないよう注意して進める。スケジュールに則り、プレゼンテーションに遅れの出ないように学生自身がマネジメントして進める。制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員に相談し授業に遅れないよう注意すること。授業時限数の3/4以上出席しない者、未提出課題がある者は不合格とする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1 回～1 5 回） 1回（ 8 ）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	ガイダンス 課題1		雑貨デザイン課題1 の概念・ルールについて理解し、今後の課題に当てはめ活用できる		
2 回	ターゲットユーザー 条件検証		ターゲットユーザーの立場を理解し、ソフト・ハード両面の条件を抽出できる		
3 回	発想、アイディア展開		各条件を基にコンセプト立案、アイディア展開できる		
4 回	アイディア検討、簡易模型		アイディアを基に複数の検証模型を製作できる		
5 回	模型製作 1		検証模型をベースに簡易図面化～模型製作に移る事が出来る		
6 回	模型製作 2		模型を仕上げ完成させる事が出来る		
7 回	プレゼンテーション・講評		模型・スケッチ・資料と合わせてプレゼンテーションを行う		
8 回	ガイダンス 課題2		雑貨デザイン課題2の概念・ルールについて理解し、今後の課題に当てはめ活用できる		
9 回	ターゲットユーザー 条件検証		ターゲットユーザーの立場を理解し、ソフト・ハード両面の条件を抽出できる		
1 0 回	発想、アイディア展開		各条件を基にコンセプト立案、アイディア展開できる		
1 1 回	アイディア検討、簡易模型		アイディアを基に複数の検証模型を製作できる		
1 2 回	模型製作 1		検証模型をベースに簡易図面化～模型製作に移る事が出来る		
1 3 回	模型製作 2		模型を作り込み、現実性を高める処理を施す事が出来る		
1 4 回	模型製作 3		模型を仕上げ完成させる事が出来る		
1 5 回	プレゼンテーション・講評		模型・スケッチ・資料と合わせてプレゼンテーションを行う		